

平成 23 年度 エコリーフ環境ラベル 企業情報交換会

2011 年 10 月 26 日（水） 於：ちよだプラットフォーム 402 会議室

【開催報告】

1) エコリーフの現況 (エコリーフ事業室長 小関)

運営 10 年目を迎える今年、エコリーフラベル公開数は緩やかなら着実な推移を見せている。現在、EPEAT をはじめとした海外ラベルとの相互認証を進める他、マルチ指標としてのエコリーフ、シングル指標のカーボンフットプリント、双方のの良さを有機的に活用できるよう、融合化も視野に入れた内容が検討されている。



2) CFP 関連情報および国際動向 (JEMAI 製品環境情報センター所長 壁谷)

平成 23 年度試行事業について／事業化に向けてのスケジュール・基本方針・課題／二次データの取り扱いや比較可能性の捉え方などカーボンフットプリント関連の最新情報が紹介された。(国際動向は時間の都合で割愛 (配布資料のみ))。

3) 企業事例紹介：コニカミノルタビジネステクノロジーズ(株)

「コニカミノルタのエコリーフ活用状況と展望」

(開発本部 開発イノベーションセンター プロセス改革推進部 畑 昌幸氏)

環境活動と経営戦略の両輪において抜きんできた企業成長を遂げるコニカミノルタ。独自の高い目標設定とその達成手段としてのエコリーフに対する期待と実践内容・工夫の数々の具体例を基に講演された。



コニカミノルタ BT 畑氏講演

4) エコリーフ事務局からのお知らせ

エコリーフのラベル作成や登録料金等、普段から寄せられる質問を中心に、ラベル作成者に有用な実務情報を整理して説明した。

1. 内訳データシートの記入ポイント
2. PCR/ラベルへの記載について
3. エコリーフ支援ソフト 改訂について



事務局からのお知らせ

4. ロゴマークの活用方法について
5. シリーズ製品・類似製品の違いについて
6. PCR 単位の登録料金について
7. 今後の検証予定

5)意見交換会

4月に行われた参加企業からのアンケート結果を改めて紹介しつつ、企業ラベル担当者が抱える問題についての質疑。今年はカーボンフットプリントの動きを睨んだデータベースの整理法等、原単位のあり方に関する質問が多く寄せられた。

JEMAIとしては、エコリーフを始めとしたデータベースのメンテナンスについて各企業の意見を聴きながら、最良の方法を検討して行くことを示した。



意見交換会会（事務局 小関）

以上をもって、平成23年度のエコリーフ企業情報交換会は盛況のうちに終了しました。